

LabKIT-SPK-080

このたびは、組み立てキット(「ラボキット」)をお求めいただき、ありがとうございます。

本商品は、(株)タイムドメインラボが開発した8cmフルレンジスピーカーユニットを使用して筒形スピーカーを組み立てるキットです。必要最低限の部品は同梱していますが、お客様の好み、工夫で自分だけの1台を作ることも可能です。どうぞお楽しみください。

同梱品をご確認ください

●H080D-AF
スピーカーユニット



(2個)

●ユニット受け



(2個)

●ディフューザー(下カバー)



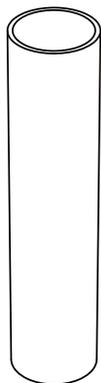
(2個)

●ベース



(2個・イモネジ[短]6本、[長]6本付)

●透明アクリル
パイプ



(2本)

●シャフト
(仮想グラウンド)



(2本)

●エプトシーラー
300mm×60mm



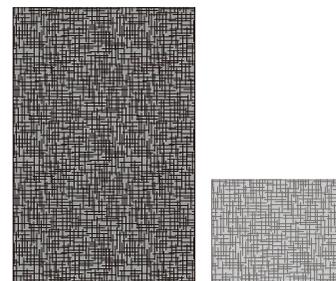
(1枚)

●クッションスポンジ



(2個)

●吸音材用生地



(大3色 小2色)

●付属両面テープ



(2枚)

●スパイクボルト



(6本)

●スパイクカバー
(ゴム脚)



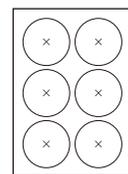
(6個)

●スピーカーケーブル
(2.3m)



(2本)

●型紙

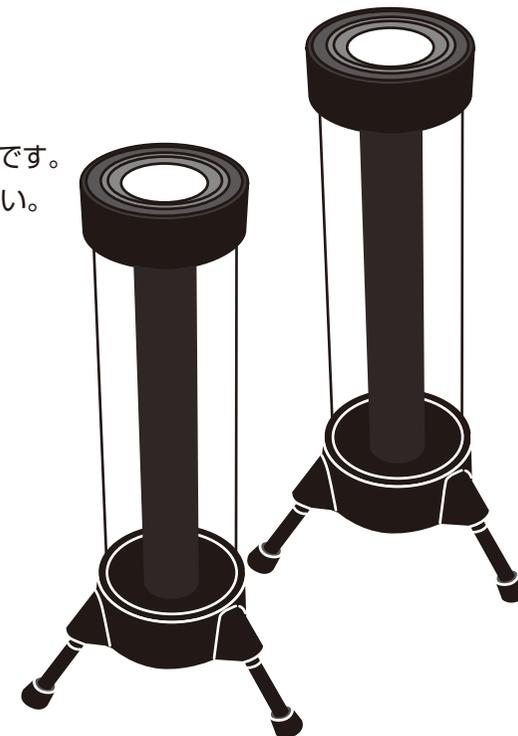


(1枚)

●六角棒レンチ対角
2.5mm



(1個)



用意するもの

- ものさし
- カッター
- はさみ(できれば布切りはさみ)
- 両面テープ
(紙素材20mm幅以上をお勧めします)

ご不明な点はタイムドメインラボカスタマーサービスにお問い合わせください 電話:072(697)0150 FAX:072(697)0151 Eメール support@timedomain-lab.co.jp

標準的な組立手順

下記は標準的な組み立て方ですので、吸音材を調整するなどお客様の工夫でお楽しみください。

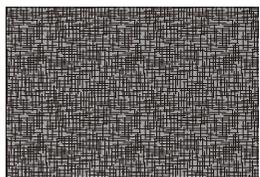
- ① エプトシーラーを必要なサイズにカットします。(剥離紙側からカッターの刃を入れると簡単に切れます)

57mm×8mm 6枚

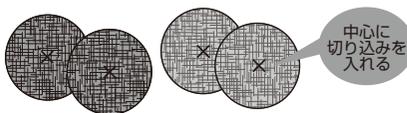
285mm×8mm 2枚

- ② 吸音材用生地を型紙を利用するなどして必要なサイズにカットします。

300mm×500mm 2枚
(生地大から好きな色を選んでください)

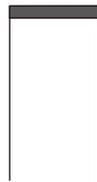


φ75mm 4枚
(生地小より濃い生地 2枚、淡い生地 2枚)



※φ75mmは同梱の型紙を利用してカットしてください。使う生地、量で音質は変わります。

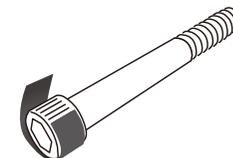
- ③ アクリルパイプの上部外周に付属の両面テープを貼付します。



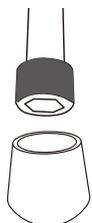
- ④ アクリルパイプの上部にユニット受けをしっかりと差し込みます。



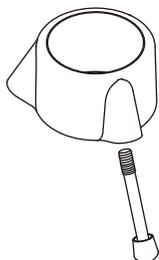
- ⑤ スパイクボルトの頭部分に①のエプトシーラーを貼付します。57mm×8mmにカットしたエプトシーラーを、頭の部分に1周巻きつけます。スパイクカバー(ゴム脚)と吻合させるためです。



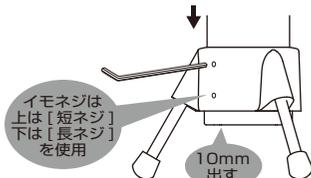
- ⑥ ⑤のスパイクボルトをスパイクカバー(ゴム脚)に差し込みます。



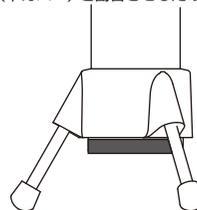
- ⑦ スパイクボルトをベースにねじ入れます。



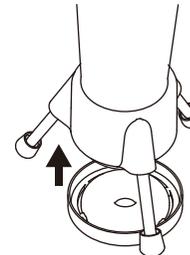
- ⑧ アクリルパイプをベースに入れて六角棒レンチでネジ止めします。アクリルパイプがベースから約10mm出るようにしてください。ネジを締めすぎるとアクリルパイプが割れるおそれがあります。



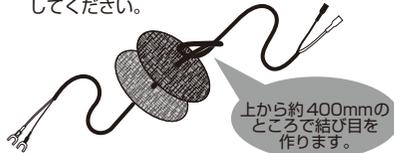
- ⑨ アクリルパイプの下端外周に①のエプトシーラーを貼付します。285mm×8mmを1周巻きつけます。ディフューザー(下カバー)と吻合させるためです。



- ⑩ アクリルパイプの下端にディフューザー(下カバー)を差し込みます。



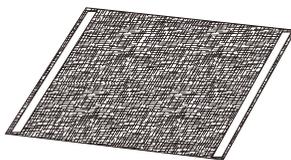
- ⑪ ②でカットしたφ75mmの吸音材用生地を濃・淡生地を交互にしてスピーカーケーブルに通します。枚数、生地質によって音質が変わります。余った生地を利用するなどしてお好みで調節してください。



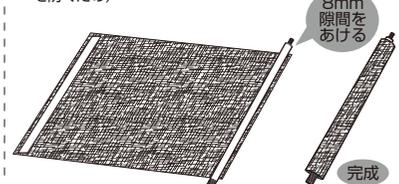
- ⑫ アクリルパイプの上からスピーカーケーブルを下に通して、吸音材用生地がディフューザー(下カバー)の上につくようにします。



- ⑬ ②でカットした300mm×500mmの吸音材用生地の300mm幅部分を両面テープを貼付します。



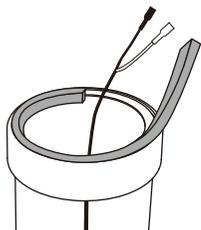
- ⑭ 吸音材用生地をシャフトに巻き、両面テープで留めます。生地を巻くときは、上(細いネジの方)から8mm隙間を開けます。(生地がスピーカーユニットと干渉することを防ぐため)



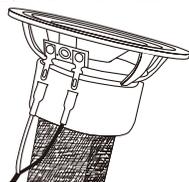
- ⑮ ⑭のシャフトをスピーカーユニットにねじ込みます。



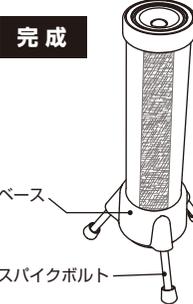
- ⑯ ユニットカバーの溝に沿って、クッションスポンジを置きます。



- ⑰ シャフト部分をパイプに入れた状態でスピーカーケーブルの端子をユニットの端子に差し込みます。左側が+です。+に白ケーブル、-に黒ケーブルを差し込んでください。



- ⑱ スピーカーユニットをクッションスポンジの上に置きます。ユニット受けに触れないように、中心に置いてください。



※持ち運ぶ際は必ずベース部を持つようにしてください(ユニット受けやパイプを持つと部品が外れて落下してケガをする場合があります)。
※床に置く場合、スパイクボルトで足をひっかけないように注意してください。ケガをする場合があります。

※スピーカーユニットの仕様は、別紙取扱説明書をご確認ください。
※オプション部品、推奨アンプなどの情報は、ウェブサイト(<http://labkit.jp>)で順次公開していきます。